



With

第20号(2024年度 NO.6) 令和7年2月28日(金)発行

2月に入ってから例年になく降雪量となり、春の訪れはまだ先に感じられるこの頃です。とはいえ、3月を迎え暦の上ではもう春。七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校では、間もなく卒業式と修了式を迎えます。今年度も残りわずかとなりましたが、児童生徒は学年のまとめの学習、そして新学年を迎えるための学習に取り組んでいます。

去る2月19日(水)、今年度最後の本校部会と分校部会合同の第4回学校運営協議会を開催しました。七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校両部会の学校運営協議会委員の皆様が一同に会するのは、6月の学校運営協議会以来となります。お足元の悪い中、御参加いただいた皆様、ありがとうございました。今号では、第4回学校運営協議会の内容についてお知らせいたします。

第4回学校運営協議会 ～北斗市総合文化センターかなでーる

◆令和6年度学校評価結果説明

学校評価結果の分析より、まとめと改善の方向性について、両校教頭より説明がありました。学校評価の詳細については、七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校のホームページを御覧ください。

七飯養護学校のまとめ

- ア 学校の教育活動に関する情報発信について
発信方法などを検討し、充実させる必要がある。
- イ 教育環境の整備について、児童生徒数の増加に対する工夫により対応しているが、今後ともさらなる工夫が必要である。
- ウ PTA活動はコロナ禍前の状況に戻ってきて充実してきた。学校運営協議会について、全体への情報発信が課題である。

七飯養護学校おしま学園分校のまとめ

- ア 危機管理マニュアル等に関して、訓練の様子や緊急時の対策について、保護者や関係施設職員にさらに理解を深めていただく工夫をする。
- イ 学校運営協議会やコミュニティ・スクールの活動内容が通信などで分かりやすく発信されている。
- ウ 一層の情報共有をし、学校、保護者、施設が一体となって教育活動を行っていく。

学校評価

総括(改善の方向性)

- ① 本校の教育目標と育てたい力について、教職員一人一人が理解し、何を目標し何を身に付けさせたいかを明確にし、学部間の連続性や系統性を踏まえた教育課程の改善が必要。
- ② 本校の教育活動や地域との関わり、PTA活動など、保護者や地域に向けて情報発信について内容や方法の工夫・充実を図り、より分かりやすく伝えることで、学校への理解につなげる必要がある。
- ③ ICTを効果的に活用し、児童生徒個々の実態に応じた指導を实践するとともに、主体的・対話的で深い学びの充実を図る。また、日々の業務推進に向けて、効率的かつ効果的に活用するための充実を図り、働き方改革の推進に取り組む必要がある。
- ④ 地域の学校との交流や共同学習の充実を図り、共生社会の形成や地域での特別支援教育への理解促進に向けた取組を進める必要がある。

5

図1 七飯養護学校学校評価総括

学校評価

総括(改善の方向性)

- 1 本校の教育目標や学校経営方針について、今後も教職員の共通理解と保護者や施設職員、地域に対して分かりやすく説明したり、共有したりするため、説明機会の確保や情報発信の工夫が必要である。
- 2 小中高の系統性や連続性を踏まえた教育課程の編成、進路指導について、昨年度より平均点は上がったが、他の項目より低い評価である。外部機関との連携を含め、充実を図っていく必要がある。
- 3 地域とともにある学校づくりを推進してきた。地域資源を活用した教育活動は充実してきたが、持続可能な取組としていくために、関連部署(学部・分掌等)の配置人数や業務分担を整理する必要がある。
- 4 安心安全な学校づくりに向けて、個人情報の管理については慎重かつ適切に取り組んでいる。整備した危機管理マニュアルを共有し、適切な初期対応ができるチームを、より充実させていく必要がある。

10

図2 七飯養護学校おしま学園分校学校評価総括

おしま学園分校では、地域でのアンケートも実施した。石別ふれあう会委員と学校運営協議会委員の皆様のアンケートからは、長年のつながり、そして地域の人材活用や行事参加により、子どもたちにとって充実した教育活動ができています。また、そのアンケートの中で、「地域お助け隊のような活動で高齢者と触れ合う機会があると良い」「畑の収穫作業や収穫祭の開催等を通して触れ合いの場を作るのも良い」「石別地区によるインクルーシブ教育を今後も発展させていくことができれば」となどの御意見を頂いた。



◆コミュニティ・スクール活動報告

七飯養護学校から、PTA 秋祭りで大いに盛り上がった「おやじバンド」、絵本や紙芝居の読み聞かせ、地域の学校や保護者とともに創り上げた「七養☆アート展」について報告がありました。七飯養護学校おしま学園分校からは、各学部の With プロジェクトの他、「四者合同ふれあい大運動会」や「いさりび鉄道作品展」、「トラピスト通り並木道ライトアップ見学」、について報告がありました。どの活動においても、学校運

営協議会委員の皆さんからの御助言があってこそ成功させることができました。誠にありがとうございます。



◆令和7年度学校経営方針及び学校運営協議会説明・協議

校長より、両校の現状や課題等を受け、令和7年度の学校経営方針について説明がなされました。七飯養護学校では、地域で、特別な支援を必要とする児童生徒が増え続け、来年度さらに児童生徒数が増えるという現状や、文部科学省モデル事業に取り組み、成果を実感できていることが説明されました。協議では、ボランティアの方と一緒に活動することや、学校を知ってもらうための見学会の開催、音楽やものづくりを通したコミュニティ・スクールの活動はどうだろうといった御意見を頂きました。



七飯養護学校おしま学園分校では、職員の理解と学校全体としての温かみのある対応から、保護者や地域から信頼を集めることができ、分校を応援してくれる人が増えていると説明されました。協議では、本校とのオンラインを通した作品交流や地域公開も「一緒にやろう!」といった楽しみに地域の人々が分校に来てくれるような活動ではどうかといった御意見を頂きました。両校の課題を踏まえ、図3のような令和7年度の重点を示しました。

また、学校運営協議会については、今年度同様に本校部会と分校部会を置き、本校より会長を選出し、年4回の学校運営協議会を実施することの説明がなされました。

令和7年度の重点

「チームで、より子どもたちのためになる学校づくりの推進」

- 保護者や地域と直接の関わりによる、子どもたちの学びの機会を広げ、感謝を伝え合う教育活動の推進
- 一人一人の適切な学びと、他者との関わり合いによる子ども主体の学びの追求
- 元気に子どもの前に立てるよう、個人と学校全体で取り組む働き方改革の一層の推進

図3 七飯養護学校・おしま学園分校の令和7年度の重点

令和6年度の学校運営協議会を無事に終えることができました。これまで4回の協議会を開催し、七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校の児童生徒のために多くの御示唆を頂き、また地域の皆様の多大なる御尽力のおかげで、児童生徒の経験を広げ、学びを深めることができました。本当にありがとうございました。学校と地域が協働し、「地域とともにある学校」の実現を目指すコミュニティ・スクールは次年度も続きます。今後とも、変わらぬ御支援と御協力をお願いいたします。学校運営協議会や学校と地域の協働活動につきまして何かございましたらお気軽に御連絡ください。

(七飯養護学校 0138-65-7004 七飯養護学校おしま学園分校 0138-75-2717)